用語集

FLORA シリーズで使われている用語を説明します。機種によっては対応していない用語もあります。

各部の名称

デスクトップパソコン

■ CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM イジェクトボタン
CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM や CD を取り出すときに押す。

■ CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM ドライブ
CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM の音や映像のデータを再生する装置。CD も再生する。

■ CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM アクセスランプ（CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM ランプ）
CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM ドライブ動作中に点灯する。

■ FG ケーブル
ノイズ防止用のケーブル。ノイズの影響で通信が正常にできないときに、パソコンの FG 端子と外部のアース端子を接続する。

■ FG 端子
ノイズ防止用の端子。ノイズの影響で通信が正常にできないときに、FG ケーブルで外部のアース端子と接続する。

■ HDD ランプ
→ハードディスクアクセスランプ

■ LAN インタフェースコネクター
LAN 用接続ケーブル（8 ピンのツイストペアケーブル）を接続する。

■ LAN ランプ
LAN の状況を表示する。リンクランプ、アクティビティランプの 2 つがある。

■ SuperDisk アクセスランプ（SuperDisk ランプ）
SuperDisk ドライブ動作中に点灯する。

■ SuperDisk イジェクトボタン
フロッピーディスク /SuperDisk を取り出すときに押す。

■ SuperDisk ドライブ
フロッピーディスク /SuperDisk を差し込む。

■ USB コネクター（ユニバーサルシリアルバスコネクター）
USB（ユニバーサルシリアルバス）ケーブルを接続する。
キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなど比較的低速な周辺機器とパソコンとの接続コネクターを統一したもの。

■インタフェースカバー
周辺機器を接続しないとき、インタフェースコネクターをカバーする。

■**拡張スロット**
拡張ボードを取り付けるところ。

■**キーボード**
データを入力できる。

■**キーボードインタフェースコネクター**
キーボードを接続する。

■**強制イジェクトスイッチ**
CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM イジェクトボタンを押しても CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM や CD を取り出せないときに、細いピンで軽く押して取り出す。それ以外では押さないこと。

■**主電源スイッチ**
スイッチを入れると電源ランプが点灯する。周辺機器の取り付け／取り外しをするときは必ずスイッチを切る。パソコンの電源が入っているときは、このスイッチは操作しないこと。主電源スイッチを切ると、待機時電力をゼロにすることができます。

■**シリアルインタフェースコネクター**
シリアルインタフェースを使用する機器を接続する。

■**スピーカー**
音声が出る。

■**赤外線インタフェース**
赤外線インタフェースの送受信部。赤外線インタフェースを持つ機器と通信できる。

■**ディスプレイインタフェースコネクター**
外付けディスプレイを接続する。

■**デジタル液晶ディスプレイインタフェースコネクター**
デジタル液晶ディスプレイを接続する。

■**デジタル液晶ディスプレイ電源コネクター**
デジタル液晶ディスプレイの電源コードを接続する。

■**電源コネクター**
専用電源コードを接続する。

■**電源スイッチ**
スイッチを押すとパソコンの電源が入り、電源ランプが緑色に点灯する。もう 1 度押すと電源が切れる。セットアップメニューや Windows の設定によっては、電源スイッチを押し、4 秒未満で離すと、スタンバイ（またはサスペンド）状態になる。

■**電源ランプ**
パソコンが通電中に橙色に、動作中に緑色に点灯する。周辺機器を接続するときは、このランプの消灯を確認する。

■**ハードディスクアクセスランプ (HDD ランプ)**
ハードディスクドライブの動作中に点灯する。

■**プリンターインタフェースコネクター**
プリンターのケーブルを接続する。

■フロッピーディスクアクセスランプ（FDD ランプ）
フロッピーディスクドライブ動作中に点灯する。

■フロッピーディスクイジェクトボタン
フロッピーディスクを取り出すときに押す。

■フロッピーディスクドライブ（FDD）
フロッピーディスクを差し込む。

■マイクコネクター
モノラルマイクを接続する。

■マウス
ディスプレイのマウスカーソルを動かし、Windows などで各種の操作を行う。

■マウスインタフェースコネクター
マウスを接続する。

■ユニバーサルシリアルバスコネクター（USB コネクター）
→ USB コネクター

■ライン出力コネクター
オーディオ出力用のコネクター。

■ライン入力コネクター
オーディオ入力用のコネクター。

ノートパソコン

■ PC カードスロット
PC カードを差し込むと、PC カードの拡張機能を使うことができます。

■ P スイッチ
スイッチを押すと、画面が反転します。もう一度押すと元に戻ります。

■ LAN インタフェースコネクター
ネットワークを使用するときは、このコネクターに LAN ケーブルを接続します。

■インジケーターランプ
ランプの光り方でパソコンの状態がわかります。

■クリックボタン
ボタンを押すと、画面に表示されるボタンなどを押したりすることができます。主に左のボタンを使います。

■シリアルインタフェースコネクター
シリアルインタフェースに対応した周辺機器（ターミナルアダプタ（TA）など）を使うときは、このコネクターに接続します。

■スピーカーボリューム
ダイヤルを回すと、スピーカーの音量を調節できます。

■ディスプレイインタフェースコネクター
パソコンの画面を外部のディスプレイで見るときは、このコネクターに接続します。

■盗難防止用ロック穴
パソコンの盗難を防ぐときに使います。この穴にワイヤーなどを通して、パソコンを固定物につなぎます。

■ファイルベイ
CD-ROMドライブやCD-R/RWドライブ、DVD-ROMドライブまたはウェイトセーバーが入るベイです。機種によっていずれかのドライブが入っています。

■プリンターインタフェースコネクター
プリンターを使うときは、このコネクターに接続します。

■フロッピーディスクドライブ
フロッピーディスクのデータを読み書きするときに使います。

■ヘッドフォンコネクター
パソコンで再生している音をオーディオ機器で聞くときは、このコネクターにラジカセなどを接続します。

■ポインティングパッド
上に指を置いてすべらせると、画面に表示される矢印マーク(マウスポインター)を動かすことができます。

■マイクコネクター
マイクを使うときは、このコネクターに接続します。

■マウス/テンキーボードインタフェースコネクター
マウスまたはテンキーボードを使うときは、このコネクターに接続します。

■モデムインタフェースコネクター
インターネットを始めるときは、このコネクターとモジュラーコンセントをモデムケーブルで接続します。

■ユニバーサルシリアルバスコネクター(USB コネクター)
ユニバーサルシリアルバス(USB)に対応した周辺機器を使うときは、このコネクターに接続します。

■ライン入力コネクター
オーディオ機器で再生している音をパソコンで聞くときは、このコネクターにラジカセなどを接続します。

■ラッチ
右にスライドして、液晶ディスプレイを開きます。

■ワンタッチキー
キーを押すだけでインターネットやメール、アプリケーションの立ち上げができるキーです。

キーボード

■ [Alt] オルトキー

特殊機能を呼び出す。このキーを押しながら特定のキーを押すと、アプリケーションの機能を呼び出せる。

■ [Back Space] バックスペースキー

現在の入力位置の直前の文字を消去する。

■ [Break] ブレークキー

アプリケーションの実行を中断する。
[Ctrl] キーを押しながら [Pause] キーを押す。

■ [Caps Lock] キャプスロックキー

[Shift] キーを押しながらこのキーを押すと、キーボードの Caps Lock ランプが点灯または画面のインジケーターが緑色になり、アルファベットが大文字で入力できるようになる。
[Shift] キーを押しながら文字キーを押すと、アルファベットが小文字で入力できる。

■ [Ctrl] コントロールキー

特殊文字を入力するキー。このキーを押しながら、文字キーを押すと、特殊文字が入力できる。

■ [Delete] デリートキー

現在の入力位置にある文字を消去する。

■ [End] エンドキー

入力位置を行の末尾に移動する。

■ [Enter] エンターキー

文字入力を確定する。

■ [Esc] エスケープキー

入力を取り消す。アプリケーションによって機能が異なる。

■ [F1] ～ [F12] キー（ファンクションキー）

アプリケーションでキーの役割を設定して、操作をしやすくする。

■ [Fn] エフエヌキー

[End]、[Home]、[Pg Up]、[Pg Dn] やファンクションキーを使用する時に同時に押す。

■ [Home] ホームキー

入力位置を行の先頭に移動する。

■ [Insert] インサートキー

文字入力の挿入モードと上書きモードを切り替える。

■ [Num Lock]/[Num Lk] ナムロックキー

このキーを押すと、キーボードの Num Lock ランプが点滅または画面のインジケーターが緑色になり、テンキーで数字や記号が入力できるようになる。

■ **[Page Down]/[Pg Dn] ページダウンキー**
画面表示を 1 ページ分繰り下げる。

■ **[Page Up]/[Pg Up] ページアップキー**
画面表示を 1 ページ分繰り上げる。

■ **[Pause] ポーズキー**
アプリケーションの入力作業を一時的に停止する。

■ **[Print Screen]/[Prt Sc] プリントスクリーンキー**
アプリケーションの機能を利用する場合のキー。

■ **[ScrLK] スクロールロックキー**
画面表示の制御をする。このキーを押すと、スクロールロック状態になる。機種によっては、[Fn] キーを同時に押す。

■ **[Scroll Lock] スクロールロックキー**
画面表示の制御をする。このキーを押すと、スクロールロック状態になる。

■ **[Shift] シフトキー**
このキーを押しながら文字キーを押すと、文字キーの左上に書かれた文字が入力できる。ただし、Caps Lock ランプまたはインジケーターが点灯しているときは、それぞれの状態に応じた文字入力ができる。

■ **[Sys Rq] シスリクキー**
アプリケーションの機能を利用する場合のキー。[Alt] キーを押しながら [Print Screen] キーを押す。

■ **[Tab] タブキー**
タブ文字が入力できる。このキーを押すと、入力位置が移動する。
Windows やアプリケーションが出力する音量を上げます。

■ **Windows 専用キー**

スタートキー



Windows のスタートメニューを表示する Windows 専用のキー。キートップには Windows マークが書かれている。

アプリケーションキー



ショートカットメニューを表示する Windows 専用のキー。ただし、アプリケーションによっては表示されない場合もある。キートップにはメニューのアイコンが書かれている。

■ **[スペース] スペースキー**
空白文字が入力できる。日本語入力モードでは、漢字変換にも使用できる。

■ **[全候補] キー**
[Alt] + [変換（次候補)] キー
標準の日本語入力システムでは使用しないキー。ほかの日本語入力システムで使うことがある。

■ [前候補] キー

[Shift] + [変換（次候補)] キー
日本語入力モードで、日本語入力システムによっては漢字変換後にこのキーを押すと前候補のページを表示する。

■ [半角／全角] キー

日本語入力システムによって、ひらがな以外の文字の半角と全角を切り替える。

■ [ひらがな] キー

日本語入力システムによっては、英数字やカタカナを入力する状態でこのキーを押すと、ひらがな入力に切り替わる。

■ [変換（次候補）] 変換キー

日本語入力するとき、入力した文字を漢字に変換するキー。変換後に続けて押すと、次候補を表示する。

■ [無変換] キー

日本語入力モードで、ひらがな入力、半角英数入力など、入力文字を切り替える。

■文字キー

キーの左上、左下、右上、右下の文字が入力できる。[Shift] キーや [Caps Lock] キーと組み合わせて使うと、アルファベットの大文字入力や記号の入力ができる。ひらがな、カタカナ、漢字は入力モードによる。

■ [↑] 上矢印キー

カーソル（入力位置）を 1 行分上げる。

■ [←] 左矢印キー

カーソル（入力位置）を 1 文字分戻す。

■ [→] 右矢印キー

カーソル（入力位置）を 1 文字分進める。

■ [↓] 下矢印キー

カーソル（入力位置）を 1 行分下げる。

ワンタッチキー

（マルチメディアキーボード、USBベイキーボードの場合）

使用するにはあらかじめマルチキーボードドライバーまたは、USB ベイキーボードドライバーをセットアップする必要があります。

■ [P1] ～ [P3] キー（ワンタッチキー）
あらかじめ設定したアプリケーションを立ち上げます。

■ [FF] 早送りキー
音楽 CD の再生を早送りします。

■ [Internet] インターネットキー
ワンタッチキーの 1 つです。インターネットに接続してホームページを見るためのアプリケーション「Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）」を立ち上げます。

■ [Mail] メールキー
ワンタッチキーの 1 つです。インターネットメールを送受信するためのアプリケーション「Outlook Express（アウトルックエクスプレス）」を立ち上げます。

■ [Mute] ミュートキー
Windows やアプリケーションが出力する音量を消したり、元に戻します。

■ [Play&Pause] プレイアンドポーズキー
音楽 CD の再生や、再生を一時停止します。

■ [Power] パワーキー
Windows の終了画面を表示します。
装置によっては、主電源スイッチが ON で、電源スイッチが OFF のとき押すと電源が入り、パソコンが立ちあがります。

■ [Rew] 巻き戻しキー
音楽 CD の再生を巻き戻します。

■ [Sleep] スリープキー
パソコンを節電するときに使います。Windows NT では使用できません。

■ [Stop] ストップキー
音楽 CD の再生を停止します。

■ [Vol. Down]/[－] ボリュームダウンキー
Windows やアプリケーションが出力する音量を下げます。

■ [Vol. Up]/[＋] ボリュームアップキー
Windows やアプリケーションが出力する音量を上げます。

重要

◎ [Play&Pause]、[Rew]、[FF]、[Stop] キーは、音楽 CD を再生するアプリケーションによっては使用できません。
◎ Windows Me の場合は、Windows Media Player の画面が選択されていないと使用できません。
◎ ワンタッチキーは、キーボードによってついているキーが異なります。

参照

ワンタッチキーの設定→『使い勝手を良くする』1 章の「ワンタッチキーを設定する」

数字・英字

■ 2DD
両面倍密度倍トラックと呼ばれるフロッピーディスクのフォーマット形式で、720kB にフォーマットできる。

■ 2HD
両面高密度と呼ばれるフロッピーディスクのフォーマット形式で、1.44MB にフォーマットできる。

■ 3 モード FD ドライバー
1.25MB(1.23MB) のフロッピーディスクの読み書きを行うためのドライバー。1.25MB(1.23MB) のフォーマットはできない。

A

■ ACPI
Advanced Configuration and Power Interface の略。節電機能など電源管理を行うための最新の仕様。Windows 98、Windows 2000、Windows Me でサポートされている。

■ APM
Advanced Power Management の略。節電機能など電源管理を行うための仕様。

B

■ BIOS
キーボード、マウス、プリンター、ディスク装置などの入出力装置のインタフェースで、基本的な処理を行うプログラム。本書では、BIOS メニューを指す。セットアップメニューという場合もある。

■ BIOS 設定の初期化
BIOS メニューの設定値を、工場出荷時の状態に戻すこと。

C

■ Celeron
セレロン。パソコンに使われている CPU。Pentium との違いは 2 次キャッシュメモリーの容量。

■ CPU
中央処理装置。パソコンの基本である演算と制御を行う。

D

■ DMA
Direct Memory Access の略。CPU を介さずに、主記憶装置 (メモリー) と周辺機器 (ハードディスクなど) とのデータの受け渡しを行う方法。

F

■ FDISK
ハードディスクのパーティションなどを設定する MS-DOS プロンプトのコマンド。

G

■ GB
ギガバイト。容量などを示す単位。1GB は約 1000MB。

I

■ IC
Integrated Circuit の略。トランジスター、ダイオード、コンデンサーなどを詰め込んだ集積回路のこと。

■ IDE
ハードディスクドライブや、CD-ROM ドライブなどを接続するためのインタフェース。

■ I/O マップ
入出力装置のそれぞれに割り当てられているアドレスの一覧表。

■ IP アドレス
インターネットなどで使用するアドレス。

■ IRQ
キーボード、マウス、SCSI ポートなどのハードウェアからパソコンの CPU に対して処理を要求する割り込み信号。

L

■ LAN
ローカルエリアネットワーク (Local Area Network) の略。同じビル内や構内など、比較的狭い範囲で使用されるネットワーク。

■ LAN ユーティリティー
内蔵 LAN の通信速度やモードを設定するユーティリティー（機種による）。

■ Low Battery
バッテリーパックの容量が少なくなった状態。Low Battery になったら、バッテリーパックを交換すること（ノート型パソコンのみ）。

M

■ MB

メガバイト。容量などを示す単位。1MB は約 1000kB。

■ MS-DOS
Microsoft Disk Operating System の略。ディスクやファイルなどを管理する基本となるプログラム。

■ MS-DOS モード
MS-DOS(Microsoft Disk Operating System) 互換モード。MS-DOS で動作するゲームなどが実行できる。

■ MS-DOS 領域
MS-DOS システムを格納する領域。

O

■ OS
Operating System の略で パソコンを動作させる基本的なソフトウェア。パソコンにはじめからインストールされている。基本ソフトともいう。Windows も OS の１つ。

P

■ PCI
パソコンへの入出力のバス規格の１つ。

■ PDF
Portable Document Format の略で、プリンタードライバーに依存しないファイル形式。このマニュアルのデータも PDF ファイルである。

■ Pentium
ペンティアム。パソコンに使われている CPU。

■ PIO モード
Program Input/Output の略。IDE インタフェースのデータ転送方式の一種。

S

■ Save to Disk/Save to File
ノートパソコンの節電機能の一種。一定時間キー入力やマウス操作をしない、ディスプレイを閉じるなどによって現在の状態を HDD に保存し、パソコンの電源を切る。

■ SCSI
スカジー。パソコンと周辺機器を接続するためのインタフェース規格。

■ SSE ドライバー

Intel Streaming SIMD(Single Instruction Multiple Data)Extensions Driver の略。
Intel Pentium III processor や、一部の Intel Celeron processor のパソコンで Windows を使用できるようにするドライバー。

■ SuperDisk

データを保存するもの。120MB まで保存できる。

T

■ TFT

Thin Film Transistor の略で、液晶ディスプレイの表示方式の一つ。画面にトランジスターを埋め込み、それを使って 1 点 1 点を直接光らせ表示する方式。

U

■ UHD

SuperDisk のフォーマット形式で、120MB にフォーマットできる。

■ USB(ユニバーサルシリアルバス) インタフェース

キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなど比較的低速な周辺機器とパソコンとの接続を、同じコネクターで統一したインタフェース。

W

■ Windows

パソコンをビジュアルに操作できるようにした基本ソフト。

■ Windows 2000

Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System または Microsoft® Windows® 2000 Server Operating System の略。

■ Windows 98

Microsoft® Windows® 98 Operating System の略。

■ Windows Me

Microsoft® Windows® Millennium Edition の略。

■ Windows NT

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System または Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System の略。

■ Windows XP

Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System または Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、Microsoft® Windows® XP 64 Bit Operating System の略。

五十音

あ

■アイコン
ファイルの内容やソフトウェアの機能のメニューを絵文字で現したもの。

■アクティブデスクトップ(Active Desktop)
インターネット エクスプローラ 4.0 からの機能のひとつ。デスクトップの壁紙にホームページを使用したり、チャンネルバーを表示できる。

■アドレス
データやソフトウェアを格納する記憶装置の中の特定の位置を示す数字。

■アプリケーション
パソコンでワープロ、表計算、パソコン通信などを実行するプログラムの総称。

■インジケーター
パソコンに電源が入っているか、節電中であるか、キーボードの設定などのパソコンの状態を示すランプ。

■インストール

アプリケーションや Windows をハードディスクに組み込むこと。

■インターネット アプライアンス(Internet Applience)
インターネットに接続するための機器またはその環境。

■インターネット エクスプローラ(Internet Explorer)
インターネットに簡単に接続するアプリケーション。ブラウザーともいう。

■液晶ディスプレイ
液晶を使ったディスプレイ装置。

■オプション機器
標準では装備されていない機能や周辺機器。

か

■解像度
画面表示の粗さを示す。

■拡張ボード
拡張スロットに取り付けて機能を拡張するボード。

■カラーパレット
画面表示で使用する色数。

■起動ドライブ
パソコンの電源を入れたとき基本ソフトを読み込むドライブ。

■基本ソフト
パソコンを動作させる基本的なソフトウェア。パソコンにはじめからインストールされている。

■クライアントパソコン
クライアントサービスシステムで、サービスを提供するサーバーパソコンに対し、サービスを要求するパソコン。

■クリック
マウスの左ボタンやクリックボタンを１回押してすぐに指を離すこと。メニューやアイテムなどを選択するときに行う。

■コントロールパネル
パソコンを使う環境を設定するためのもの。マウスやキーボードの使い方や、使用しなくなったアプリケーションを削除することができる。

■コンピューターウイルス
ネットワークやフロッピーディスクを介して感染する有害なプログラム。

さ

■再セットアップ
パソコンを工場出荷時の状態に戻すこと。

■サウンドドライバー
スピーカーやマイク、サウンド機能を使えるようにするドライバー。

■サスペンド
BIOS の節電機能の一種で、一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPU が一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。

■システムスタンバイ
OS の節電機能の一種で、Windows 98、Windows 2000、Windows Me の機能。一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPU が一時停止し、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。

■システム装置
個人用コンピューターのこと。このマニュアルでは、パソコンと表記。

■周辺機器
パソコンの内外に接続する装置や入出力装置の総称。

■使用許諾契約書
ここでは、パソコンにあらかじめインストールされている各アプリケーションと Windows を使用するための契約書を示す。

■ショートカット
実際のデータやアプリケーションの代理として働くアイコン。

■ショートカットメニュー
右クリックで表示されるメニュー。よく行う操作が簡単に選べる。

■自動挿入 / 自動再生
音楽 CD や CD-ROM を入れると、自動的に再生したり、CD-ROM の機能が働いたりすること。

■スクリーンセーバー
画面の焼き付きを防止するもの。一定時間キー入力やマウス操作を行わないと、自動的に設定した画面表示に替わる。

■スタートボタン
Windows のいろいろな作業を始めるためのボタン。アプリケーションを立ち上げたり、Windows を終了することができる。

■スタンバイ
BIOS の節電機能の一種で、一定時間キー入力やマウス操作をしないと、CPU は動作したまま、ディスプレイとハードディスクが節電状態になる。

■赤外線インタフェース
赤外線インタフェースの送受信部。赤外線インタフェースを持つ機器と通信できる。

■節電機能(パワーマネージメント)
一定時間キー入力や HDD へのアクセスなどがないとき、消費電力を低下させる機能。

■セットアップメニュー
パソコンの節電機能や周辺機器構成などを設定する機能を集めたメニュー。本書では BIOS メニューを指す。

■挿入の自動通知
音楽 CD や CD-ROM を入れると、自動的に再生したり、CD-ROM の機能が働いたりすること。

■ソフトウェアリセット(リセット)
緊急時に電源を切らずにパソコンを立ち上げ直すこと。

た

■タスクバー
現在作業中のウィンドウが表示されます。作業を切り替えることができる。

■ダブルクリック
クリックボタン、またはマウスのボタンを２回続けてクリックすること。

■チャンネルバー
アクティブデスクトップの機能のひとつ。デスクトップに表示されるホームページのメニュー。

■低電力スタンバイ
節電機能の一種。一定時間キー入力やマウス操作をしないと、ディスプレイへの電力を自動的に下げること。

■デスクトップ
パソコンの作業をするための机のようなもの。データやアプリケーションなどのショートカットをおいて作業しやすくできる。

■ドライバー
ディスプレイやプリンターなどのハードウェアとアプリケーションプログラムから やりとりするためのインタフェースプログラム。

■ドラッグ
クリックボタン、マウスのボタンを押しながらマウスカーソルを移動すること。

■ドラッグアンドドロップ
アイコンなどを実行したい部分までドラッグし、その部分に重ねて離すこと。

な

■内蔵タイマー
パソコンに内蔵されている時計。

■日本語入力システム
キーボードから入力した情報を、キーに対応するひらがなやカタカナに変えて入力するシステム。代表的なものに Microsoft 社の MS-IME やジャストシステム社の ATOK などがある。日本語 IME という場合もある。

は

■パーティション
ハードディスクの領域。複数に分けて使うことができる。

■バス
パソコン内部の信号（データ）の通信路。信号の種類や、接続する機器により、数種類のバス規格がある。PCI バス、VME バスなどもそれらの１つ。

■パソコン
パーソナル (個人用) コンピューターの略。

■バックアップ
ハードディスクやフロッピーディスクのアプリケーションやデータを、保存用のフロッピーディスクや MO などの記録媒体にコピーすること。

■ハードウェアウィザード
周辺機器などパソコンの環境を自動的に設定するもの。

■ハードウェアの追加
周辺機器などパソコンの環境を自動的に設定するもの。

■表示ドライバー
画面の表示を設定するドライバー。

■表示モード
画面の解像度や色数などの表示状態。

■ファイル装置
ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブなどの総称。

■フォーマット
フロッピーディスクやハードディスクを使えるようにすること。

■フォルダー
データやプログラムを整理してまとめておく入れ物。

■フォントサイズ
文字のサイズ。

■プラグアンドプレイ
周辺機器を増設するだけで、自動的に使えるようにする機能。

■プラグアンドプレイ機能
パソコンに周辺機器を接続するだけで、パソコンが周辺機器を自動的に認識する機能。パソコンや周辺機器に特別な設定がいらない。

■プリンターの設定
使用するプリンターの機種を設定し、Windows で使えるようにすること。

■プロダクト ID/ プロダクトキー
『ファーストステップガイド』の表紙の Certificate of Authenticity のバーコード上に印刷されている英数字のコード。パソコンによっては、パソコンにシールがはられている。また、OS によって、最初の立ち上げ時にこの数字の入力が必要。

■フロッピーディスク
データを保存するもの。

■ヘルプ
操作方法や使い方などわからないことを説明する。

■ポインティングパッド
ノートパソコンでマウスの代わりをするもの。

■ポイント
マウスポインターをあるものに重ねること。

■ホットキー
[Fn] キーとファンクションキーの組み合わせを指す。ディスプレイの明るさやコントラストの調節などに使用する (ノート型のみ)。

ま

■マイ コンピュータ
パソコンの中身や、パソコンに接続されているものをまとめたもの。

■マイ ドキュメント
アプリケーションなどのデータを保存するフォルダー。

■マウスカーソル / マウスポインター
マウスの動きに合わせて画面を移動するマーク。

■マルチファンクションカード
複数の機能を持つ PC カード。複数の IRQ を使用することがある。

■マルチファンクションボード
複数の機能を持つ PCI ボード。INTA 以外も使用することがある。

■メインボード
CPU やその周辺回路、メインメモリーなどを搭載した基板。

■メモリーボード
パソコンのメモリー容量を増やすためのボード。

や

■ユーティリティー
メーカーが提供する補助的なソフトウェアのこと。データの変換、ファイルの複写、作表など共通で、頻繁に使われるソフトウェア。

■ユニバーサルシリアルバスコネクター
→ USB（ユニバーサルシリアルバス）インタフェース

ら

■リセット
電源を切らずにパソコンを立ち上げ直すこと。

■リフレッシュレート
画面表示するときの、垂直同期周波数。

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

・ENERGYSTAR はアメリカ合衆国の登録商標です。
・Microsoft、MS-DOS、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
・Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
・Celeron は Intel Corporation の商標です。
・その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

用語集

2002 年　4 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社　日立製作所

インターネットプラットフォーム事業部

〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地

WORD0000